

光栄

光栄とは、
光り栄えると書きます。
身に余る光栄、光栄の至り、
と言いますが、
朝日以上の
光り栄えるものはないのです。
東の空に日が昇るとき、
光栄なる一日の始まりです。

それなのに、
良い日悪い日と決めつけて、
日を過ごすのは
もったいない限りです。

今日という光栄を喜んで、
今日も有り難く
働かせていただきたいものです。